

南砺市中央公民館

◆事業の目的

子供たちが親子でふるさとの自然を体験し、好奇心や自然の大切さを感じる心を育てる。また、親世代と共に体験することにより親子のふれあいを深め、家庭の教育力を向上させる。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
8月12日(日)	星の観察会	南山見公民館グラウンド	85名
8月26日(日)	イワナつかみどりとサンショウウオ観察!	利賀国際キャンプ場	77名
10月6日(土)	キノコ狩りと池川源流の水生生物調査!	つくばね森林公園、池川	55名
10月14日(日)	ふるさと講演会、作品づくり	南山見公民館	45名

◆事業の様子

☆ 星の観察会

講師に富山県天文学会会員の方をお招きしました。

いつものメンバーだけでなく、他の地区の子供たちの参加もありました。望遠鏡から土星の輪が確認できると、子供たちや保護者から大きな歓声があがるなど、興味津々で講師の先生の話に耳を傾けていました。望遠鏡1台で順番に観察したため、時間がかかり、あまり星の数を観察できなかったことが残念でした。



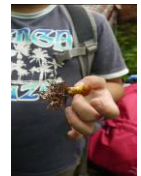
☆ イワナつかみどりとサンショウウオ観察!

溪流の生き物を観察し、下流では見られない生き物を発見することができました。イワナつかみでは、魚の生体を観察し獲った魚を食べることで、生き物の命をいただくという、命に対する畏敬の念を学ぶことができました。



☆ キノコ狩りと池川源流の水生生物調査!

キノコ狩りで採ったキノコの名前を教わったり、どれが食べられるキノコであるかを学んだりしました。昼食ではおいしいキノコ鍋をいただきました。また、池川の源流を訪れ、そこにしか生息しない水生生物の観察をしました。



☆ ふるさと講演会

地域の歴史に詳しい方をお招きして当地区について、講義をいただきました。

集落にある宮が向いている方角について調べられたことを、分かりやすく地図を使ってお話いただきました。ほとんどの宮は北や北西を向いているのは、井波風の影響が大きいとのことのお話でしたが、子供たちから高瀬神社に向いているとの意見があり、それも一つの見方だと感心しました。



◆事業の成果と課題

いろいろな活動を体験することで、子供たちはたくさんの新しい発見をするとともに、ふるさとに愛着をもつことができました。また、親子でのいろいろな活動を通して親もいろいろな発見をしたり、親子のふれあいを深めたりすることができました。そして何よりも子供たちは好奇心を育み、自然の大切さを感じ取ることができました。企画・運営に当たり、連携する公民館、社会教育指導員、三者による打合わせや連絡をさらに密にする必要があります。